



K I Y O E

M O R O N U K I

————— 諸 貫 き よ 恵



## 諸貫きよ恵 | KIYOE MORONUKI

1986年 東京都生まれ  
2009年 武蔵野美術大学工芸工業デザイン学科金工専攻卒業  
武蔵野美術大学共通彫塑研究室教務補助員  
2010年～2015年 武蔵野美術大学共通彫塑研究室助手  
2015年～ 武蔵野美術大学共通彫塑研究室非常勤講師

### | 個展 |

2010年～2013年・2015年 「諸貫きよ恵展」(トキ・アートスペース)  
2012年「諸貫きよ恵展」(小田原 すどう美術館)  
2014年「諸貫きよ恵展」(ギャラリーなつか)  
2017年「諸貫きよ恵展」(ギャラリーせいほう)

### | グループ展 |

2009年  
「武蔵野美術大学工芸工業デザイン学科卒業制作展」(青山 スパイラルガーデン)

2010年～2014年  
「助手展 武蔵野美術大学助手研究発表」(武蔵野美術大学)

2011年  
「第5回丹沢アートフェスティバル」(秦野 田中造形美術研究所)  
「若き画家たちのメッセージ2011展」(小田原 すどう美術館)  
「三鷹アーティストネットワーク展III」(三鷹三鷹市美術ギャラリー)

2013年  
「みたかの夢」(三鷹 ぎやらりー由芽)  
「清水綾子 森田緑 諸貫きよ恵 三人展」(恵比寿 ギャラリー其乃伍)

2016年～2021年  
「YEAR END EXHIBITION OF MINI SCULPTURES (年末彫刻小品展)」(ギャラリーせいほう)

2020年  
「今! 彫刻展」(ギャラリーせいほう)

## S o i l

金属彫刻家 諸貫きよ恵は、コークスで1000℃以上に赤めた鉄を、ハンマーなどの道具を用いて鍛造し、形をつくります。

”Soil”とは土や土壌という意味です。大地に育つ野菜は土からエネルギーを吸収することで成長し、そしてまた野菜のエネルギーが人類の生きるための大切な栄養として繋がっていく。大地から力強く育つ野菜の生命エネルギーは、それぞれの形や存在感から放出されると考える諸貫は、源としての「土」「大地」にも着目しつつ「野菜のエネルギー」をテーマに彫刻を制作しています。

コークスの熱量エネルギー、繰り返し叩く諸貫自身のエネルギー、大地からエネルギーを吸い力強く育つ野菜のエネルギー、様々な生命エネルギーが相まって、新たなエネルギーが創出される様を視覚化致します。大作を含めた新作を中心に発表いたします。

いりや画廊学芸員 園浦眞佐子



[ キャベツ畑(wa11) ]  
2022 / 鉄 / H15×W49.5×D5 (cm)



[ 弾けるかぶ ]  
2021 / 鉄 / H76×W50×D50(cm)



[「れんこん 〈土と水の中〉」]  
2022 / 鉄 / H200×W120×D150 (cm)



[ キャベツ畑 ]  
2018 / 鉄 / H17×W15×D15(cm)



[ チンゲンサイ畑 ]  
2019 / 鉄 / H17×W14×D14(cm)





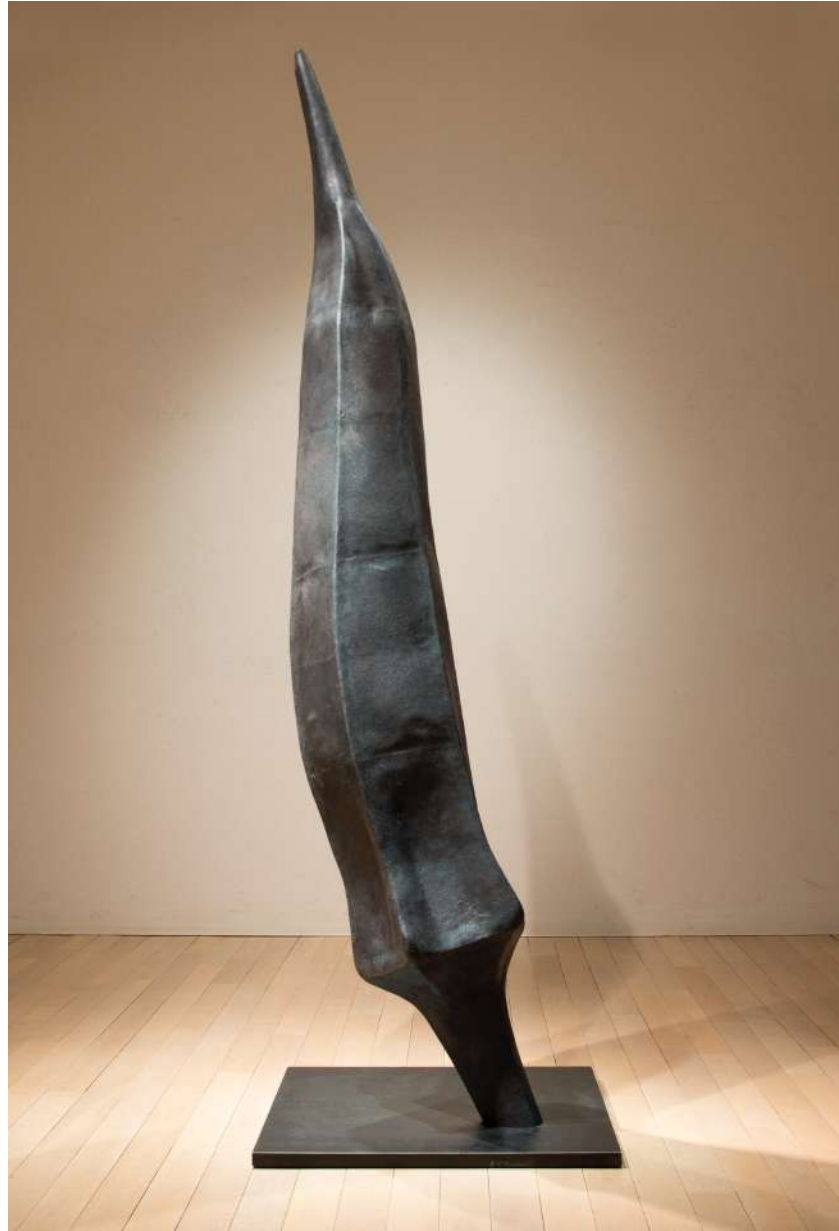
[ Potato ]  
2020 / 鉄 / H23.5×W11×D10 (cm)



会場風景



会場風景



[ オクラ ]

2016 / 鉄 / H202×W60×D60 (cm)



[ タアサイ ]  
2016 / 鉄 / H20×W52×D50 (cm)



[ パプリカ ]  
2016 / 鉄 / H12×W21×D12(cm)



[ トマト ]

2017 / 鉄 / H90×W113×D110 (cm)



[ ピーマン ]  
2017 / 鉄 / H8×W14×D8(cm)





[ ししとう ]  
2017 / 鉄 / H4×W24×D3.5(cm)



[ アボカド (cut) ]  
2017 / 鉄 / H9×W13.5×D6(cm)



[ どうもろこし (cut) ]  
2017 / 鉄 / H8×W5×D8(cm)